

お わ り に

平成12年度から3年間にわたり、「個別の教育的ニーズにこたえる教育課程の編成と授業の実践」のテーマで研究に取り組んできました。本校では、現在、個別の指導計画を作成していますが、個別の教育的ニーズを教育課程や授業にどのように取り込んでいくかが大きな課題となっていました。また、文部科学省の研究開発の指定を受け、学習指導要領の改善を目指すという趣旨のもと、本校にとって意義のある研究となりました。

個別の教育的ニーズにこたえる教育の在り方や、本校における教育の枠組みをどのようにとらえるかなどの議論を重ね、実践を繰り返してきました。

研究の成果は、子どもの変容にみることができます。小学部の子どもが着替えや朝の会の際、集中できるようになったり、学校生活全般において情緒の安定が図れるようになったりしています。また中学部では、家庭での手伝いの幅が広がったり、交通機関の利用ができるようになったりして、家庭や地域での生活力が確実に身に付いてきています。さらに高等部では、卒業生が「社会生活と進路」で学んだことを生かして、充実した豊かな生活を送っています。新たに設定した教育によって、子どもの力を引き出すことができました。

さらに、今回の成果として、「支援領域」の考え方を提案できたことです。これは今後、学校における教育課程編成の際の重要な視点になると思います。「支援領域」については今後も実践しながら検証していきたいと思っています。

子どもの卒業後の自立と豊かな生きがいのある生活を実現するために、研究の成果を生かし、さらに本校の教育の充実を目指して努力したいと思います。

今回の研究に当たり御後援を賜りました栃木県教育委員会、及び宇都宮市教育委員会に厚く御礼申し上げます。また、御指導、御助言をいただきました運営指導委員の先生方に心より御礼を申し上げます。

本校の研究を一層深まりのあるものにするために、皆様方の御批判、御指導を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

副校長 高橋 みゆき